

富山県内の中小企業動向調査
ファーストTrend

2025年4月号

— — — — — **CONTENTS** — — — — —

1. 中小企業動向調査 [2025年1～3月実績/2025年4～6月見込/7～9月予測]
 2. 現在の業況、賃金の動向について
- — — — —

中小企業動向調査（2025年3月末日基準）

この調査は、富山県内企業326社からのアンケート結果をまとめたものです。
企業の調査資料として、2025年1月～3月の実績、2025年4月～6月の見込、2025年7月～9月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
326（637）
うち、製造業62社、非製造業264社

調査時期：2025年4月

方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

日本銀行富山事務所が2025年5月に公表した「富山県金融経済クォーターリー2025年春」によると、「最終需要において個人消費は、物価上昇の影響などがみられるものの、持ち直している。設備投資は、増加している。住宅投資は、持ち直している。公共投資は、増加している。生産は、横ばい圏内の動きとなっている。業種別にみると、電気機械は、横ばい圏内の動きとなっているが、足もとでは、米国の関税引き上げに伴う駆け込みの動きがみられている。医薬品を中心とする化学は、緩やかに増加している。金属製品は、弱めの動きとなっている。汎用・生産用・業務用機械は、下げ止まりつつある。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、上昇している。企業倒産は、件数・負債総額ともに前年を上回った。」とあります。富山県内の中小企業の景気は、一部に弱めの動きもみられますが、緩やかに回復しているとみられています。

I. 企業業況

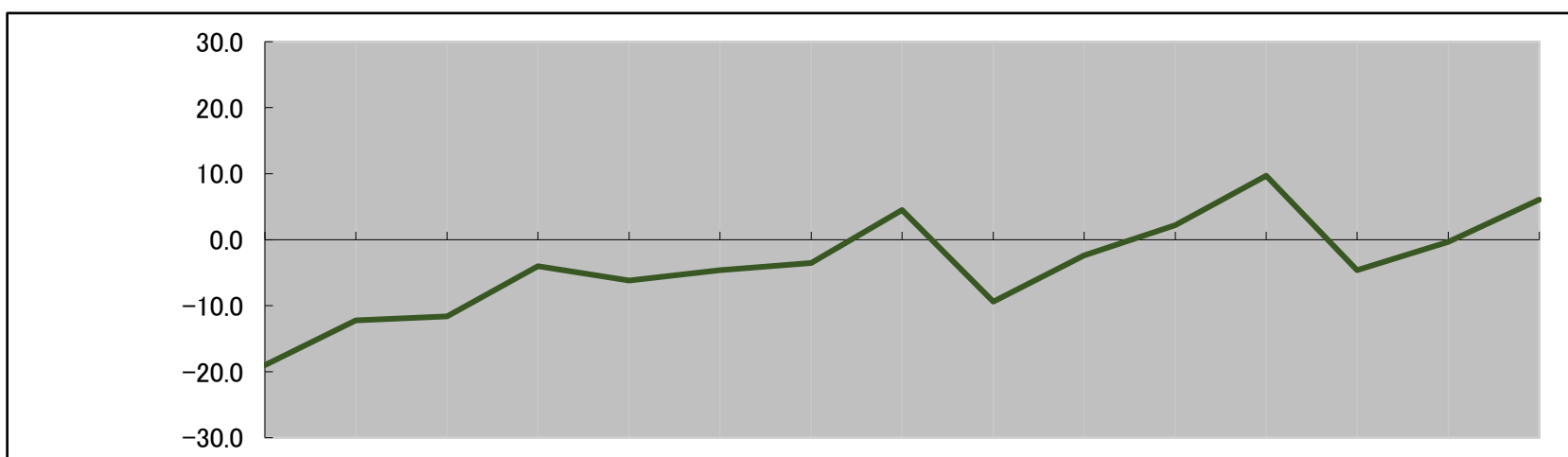
（小数点第2位を四捨五入）

企業業況の推移……（全産業）

(%)

見込 予測

種別	期別	2022				2023				2024				2025		
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
良	い	17.4	17.2	16.3	22.6	20.7	20.5	20.4	24.2	18.6	20.4	23.7	27.9	20.6	17.6	19.4
普	通	46.2	53.5	55.8	50.9	52.4	54.3	55.7	56.1	53.4	56.8	54.8	53.9	54.2	64.5	67.3
悪	い	36.4	29.4	27.9	26.5	26.9	25.1	23.9	19.7	28.0	22.8	21.5	18.2	25.2	17.9	13.3
D . I .		-19.0	-12.2	-11.6	-4.0	-6.2	-4.6	-3.5	4.5	-9.4	-2.4	2.2	9.7	-4.6	-0.3	6.1



富山県内の中小企業の業況を全産業でみると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、マイナス4.6となり、前回比14.3ポイント悪化し、2024年4～6月以来のマイナス圏内に下落しました。物価上昇や米国の通商政策の影響などの懸念事項により、業況が悪化したと推察されます。

先行きについては、2025年4月以降は改善傾向となる予想です。

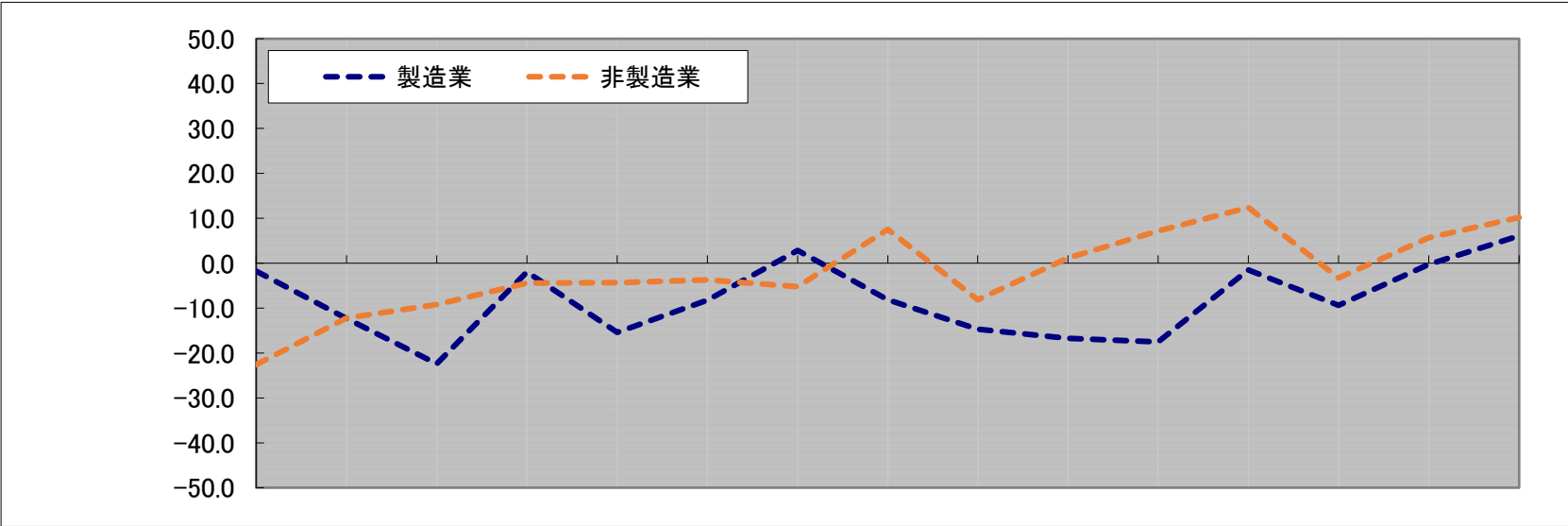
I. 企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

(%)														見込	予測	
	2022				2023				2024				2025			
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	
良	い	30.9	24.6	15.5	26.4	25.0	21.9	30.6	25.8	20.6	22.7	21.7	28.8	25.0	17.6	19.4
普	通	36.4	38.6	46.6	45.3	34.6	47.9	41.7	40.3	44.1	37.9	39.1	40.9	40.6	64.5	67.3
悪	い	32.7	36.8	37.9	28.3	40.4	30.1	27.8	33.9	35.3	39.4	39.2	30.3	34.4	17.9	13.3
D . I .		-1.8	-12.3	-22.4	-1.9	-15.4	-8.2	2.8	-8.1	-14.7	-16.7	-17.5	-1.5	-9.4	-0.3	6.1

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

(%)														見込	予測	
	2022				2023				2024				2025			
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	
良	い	14.6	15.7	16.5	21.8	19.8	20.2	17.7	23.9	18.1	19.8	24.2	27.6	19.6	19.2	20.7
普	通	48.3	56.4	57.9	52.0	56.0	55.9	59.4	59.7	55.7	61.6	58.8	57.2	57.5	67.3	68.8
悪	い	37.2	27.9	25.7	26.2	24.1	23.9	22.9	16.4	26.2	18.6	17.0	15.2	22.9	13.5	10.5
D . I .		-22.6	-12.2	-9.2	-4.4	-4.3	-3.7	-5.2	7.5	-8.1	1.2	7.2	12.4	-3.3	5.7	10.2



製造業と非製造業に分けてみると、製造業の業況判断指数D.I.は、マイナス9.4となり、前回比7.9ポイントの悪化となりました。米国の関税政策により製造業の輸出意欲が急速に冷え込んでいるのではないかと推察されます。製造業では2025年4～6月は引き続きマイナスとなる予想ですが、その後は改善傾向となる予想です。非製造業ではマイナス3.3となり、前回比15.7ポイント悪化しました。非製造業では2025年4月以降の業況D.I.は改善傾向となる予想です。業種別にみると、建設業において改善傾向の上昇幅が大きくなっています。

Ⅱ. 売上高状況

(小数点第2位を四捨五入)

売上高状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2022				2023				2024				2025		
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
増加	16.8	27.6	25.7	27.7	26.5	27.6	27.1	31.5	24.4	28.9	28.1	32.1	24.5	18.8	21.5
横ばい	49.1	47.7	50.8	50.0	49.2	49.5	48.1	51.5	51.2	48.6	50.0	52.1	50.3	63.3	65.5
減少	34.2	24.7	23.5	22.3	24.3	23.0	24.8	17.0	24.4	22.5	21.9	15.8	25.2	17.9	13.0
D . I .	-17.4	2.9	2.2	5.5	2.3	4.6	2.3	14.5	0.0	6.4	6.2	16.3	-0.7	0.9	8.5

売上高状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

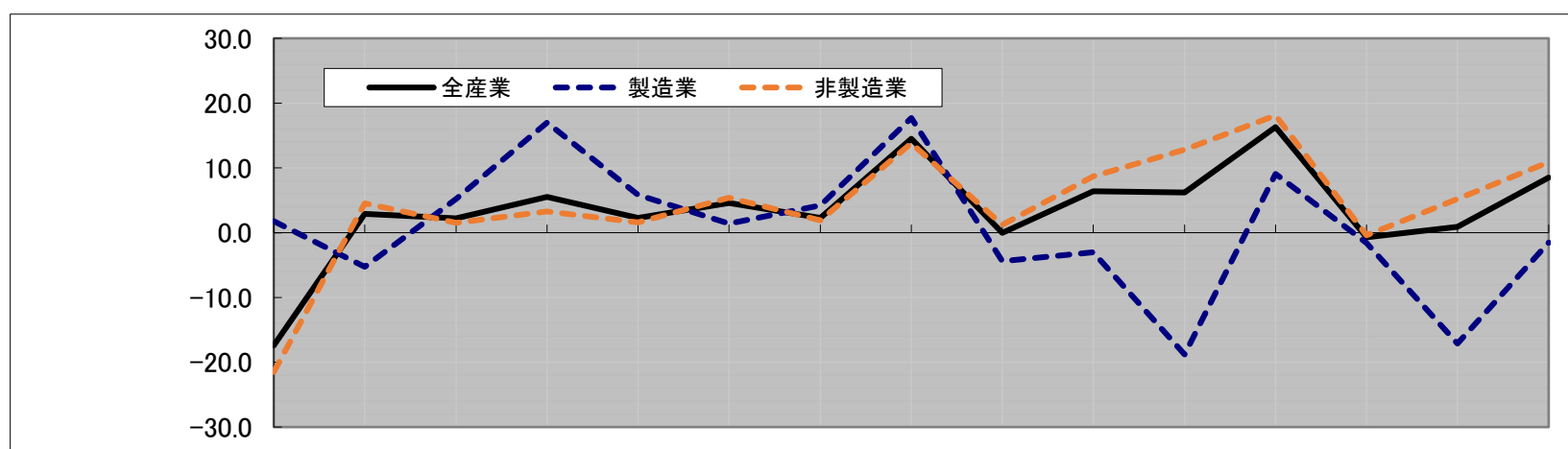
	2022				2023				2024				2025		
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
増加	27.3	24.6	32.8	37.7	34.6	28.8	33.3	40.3	22.1	31.8	20.3	28.8	23.4	14.1	18.8
横ばい	47.3	45.6	39.7	41.5	36.5	43.8	37.5	37.1	51.4	33.4	40.6	51.5	51.6	54.7	60.9
減少	25.5	29.8	27.6	20.8	28.8	27.4	29.2	22.6	26.5	34.8	39.1	19.7	25.0	31.2	20.3
D . I .	1.8	-5.3	5.2	17.0	5.8	1.4	4.2	17.7	-4.4	-3.0	-18.8	9.1	-1.6	-17.1	-1.5

売上高状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2022				2023				2024				2025		
	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
増加	14.6	28.2	24.1	25.8	24.9	27.3	25.5	29.5	25.0	28.1	30.2	32.9	24.8	19.9	22.2
横ばい	49.4	48.1	53.3	51.6	51.8	50.8	50.9	54.9	51.2	52.5	52.4	52.3	50.0	65.4	66.5
減少	36.0	23.7	22.6	22.5	23.3	21.9	23.6	15.7	23.8	19.4	17.4	14.8	25.2	14.7	11.3
D . I .	-21.5	4.5	1.5	3.3	1.6	5.4	1.9	13.8	1.2	8.7	12.8	18.1	-0.4	5.2	10.9



売上高D.I.は全産業ではマイナス0.7となり、前回比17.0ポイント悪化しました。2025年4月以降は改善傾向となる予想です。

製造業と非製造業に分けてみると、製造業ではマイナス1.6となり、前回比10.7ポイント悪化しました。2025年4～6月はさらに悪化する予想となっています。

非製造業はマイナス0.4となり、前回比18.5ポイント悪化しました。業種別にみると、小売業、サービス業において大幅に悪化しております。2025年4月以降は全体として改善傾向となる予想です。

Ⅲ. 製品在庫水準

(小数点第2位を四捨五入)

製品在庫水準の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不 足	13.3	13.1	13.2	11.0	9.7	7.8	9.0	8.2	9.8	6.7	7.8	5.8	7.6	7.9	7.6
適 正	82.0	82.3	81.2	84.1	83.8	84.3	84.0	85.8	83.8	88.7	85.6	89.4	87.0	87.6	88.5
過 剰	4.7	4.7	5.6	4.9	6.5	7.8	7.0	6.1	6.4	4.6	6.6	4.8	5.4	4.5	3.9
D . I .	8.6	8.4	7.6	6.1	3.2	0.0	2.0	2.1	3.4	2.1	1.2	1.0	2.2	3.4	3.7

製品在庫水準の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

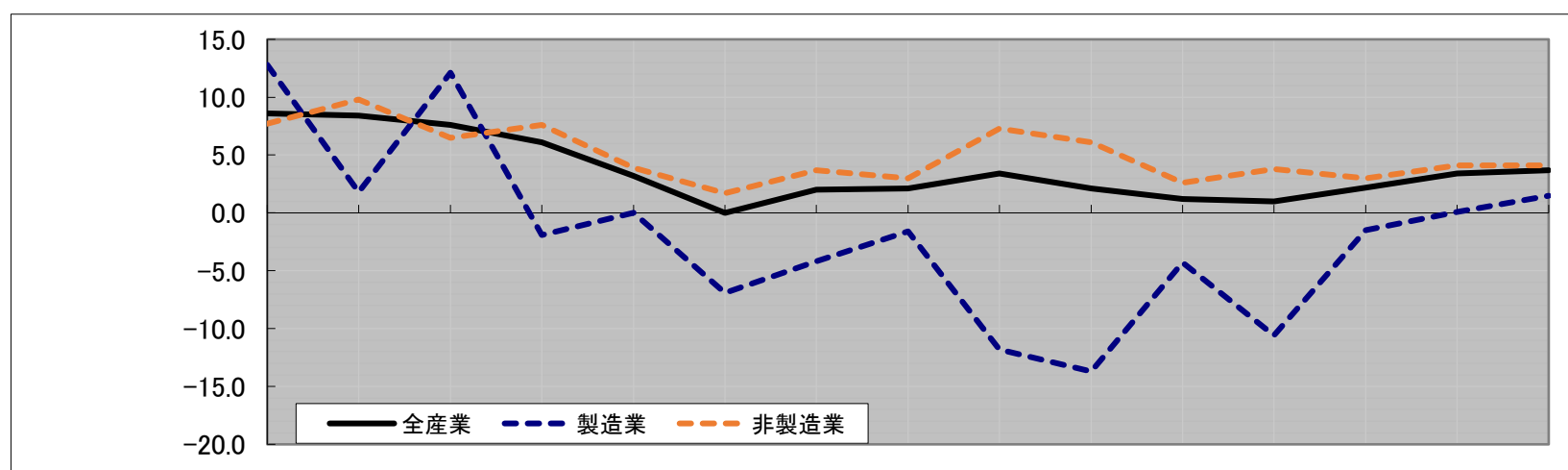
	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不 足	16.4	10.5	19.0	11.3	15.4	8.2	8.3	8.1	2.9	3.0	8.7	1.5	6.3	9.4	7.8
適 正	80.0	80.7	74.1	75.5	69.2	76.7	79.2	82.3	82.4	80.3	78.3	86.4	85.9	81.3	85.9
過 剰	3.6	8.8	6.9	13.2	15.4	15.1	12.5	9.7	14.7	16.7	13.0	12.1	7.8	9.3	6.3
D . I .	12.8	1.8	12.1	-1.9	0.0	-6.9	-4.2	-1.6	-11.8	-13.7	-4.3	-10.6	-1.5	0.1	1.5

製品在庫水準の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
不 足	12.6	13.6	11.9	10.9	8.6	7.7	9.2	8.2	11.5	7.6	7.5	6.8	7.9	7.5	7.5
適 正	82.4	82.6	82.8	85.8	86.8	86.2	85.2	86.6	84.3	90.9	87.6	90.2	87.2	89.1	89.1
過 剰	5.0	3.8	5.4	3.3	4.7	6.1	5.5	5.2	4.2	1.5	4.9	3.0	4.9	3.4	3.4
D . I .	7.7	9.8	6.5	7.6	3.9	1.7	3.7	3.0	7.3	6.1	2.6	3.8	3.0	4.1	4.1



製品在庫水準D.I.はプラス2.2となり前回比1.2ポイント改善しました。2025年4月以降はプラス圏内で推移する予想です。

製造業はマイナス1.5と前回比9.1ポイント改善しました。2025年4月以降もプラス圏内で推移する予想です。

非製造業はプラス3.0と前回比0.8ポイント悪化しましたが、2025年4月以降もプラス圏内で推移する予想です。

IV. 資金繰状況

(小数点第2位を四捨五入)

資金繰状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
ゆるい	15.8	16.9	15.0	14.9	16.8	14.3	14.3	13.6	9.8	13.7	12.3	15.5	13.0	9.1	10.0
普通	65.2	68.3	70.2	68.6	64.7	73.2	69.7	70.9	72.8	70.2	75.7	70.9	69.4	73.0	73.6
厳しい	19.0	14.8	14.7	16.5	18.4	12.4	16.0	15.5	17.4	16.1	12.0	13.6	17.6	17.9	16.4
D . I .	-3.2	2.1	0.3	-1.6	-1.6	1.9	-1.7	-1.9	-7.6	-2.4	0.3	1.9	-4.6	-8.8	-6.4

資金繰状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

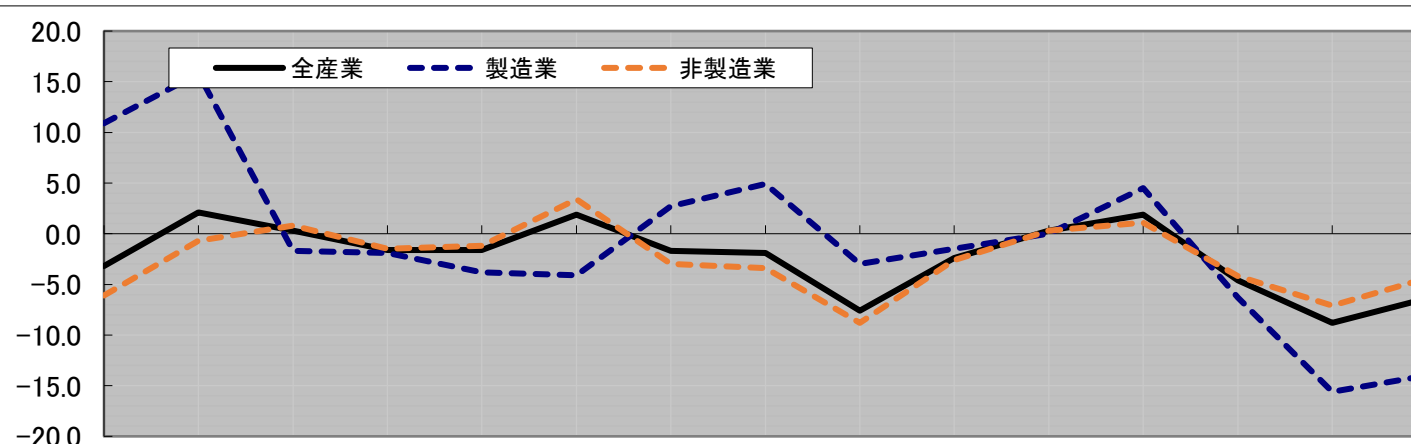
	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
ゆるい	21.8	21.1	12.1	7.5	13.5	12.3	12.3	21.0	8.8	12.1	10.1	13.6	10.9	7.8	9.4
普通	67.3	73.7	74.1	83.0	69.2	71.2	78.1	62.9	79.4	74.3	79.8	77.3	71.9	68.8	67.2
厳しい	10.9	5.3	13.8	9.4	17.3	16.4	9.6	16.1	11.8	13.6	10.1	9.1	17.2	23.4	23.4
D . I .	10.9	15.8	-1.7	-1.9	-3.8	-4.1	2.7	4.9	-3.0	-1.5	0.0	4.5	-6.3	-15.6	-14.0

資金繰状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
ゆるい	14.6	16.0	15.7	16.4	17.5	14.8	14.8	11.9	10.0	14.1	12.8	15.9	13.5	9.4	10.2
普通	64.8	67.2	69.3	65.8	63.8	73.7	67.4	72.8	71.2	69.2	74.7	69.3	68.8	74.1	75.2
厳しい	20.7	16.7	14.9	17.8	18.7	11.4	17.8	15.3	18.8	16.7	12.5	14.8	17.7	16.5	14.6
D . I .	-6.1	-0.7	0.8	-1.5	-1.2	3.4	-3.0	-3.4	-8.8	-2.6	0.3	1.1	-4.2	-7.1	-4.4



資金繰り状況D.I.は全産業でマイナス4.6と前回比6.5ポイント悪化しました。

製造業はマイナス6.3と前回比10.8ポイント悪化しました。2025年4月以降もマイナス圏内で推移する予想です。

非製造業はマイナス4.2と前回比5.3ポイント悪化しました。2025年4月以降もマイナス圏内で推移する予想です。

宿泊業、サービス業において悪化傾向にあります。

V. 利益状況

(小数点第2位を四捨五入)

利益状況の推移…… (全産業)

(%)

見込 予測

	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
黒 字	36.7	34.6	35.4	42.4	39.8	40.0	39.1	47.6	41.5	40.1	42.8	45.1	41.5	36.4	37.0
収 支 ト ン ト ン	29.4	41.6	39.5	31.1	35.3	36.8	39.7	33.6	35.6	38.0	35.3	35.5	33.3	47.0	50.6
償 却 後 赤 字	33.9	23.8	25.1	26.5	24.9	23.2	21.3	18.8	22.9	21.9	21.9	19.4	25.2	16.6	12.4
D . I .	2.8	10.8	10.3	15.9	14.9	16.8	17.8	28.8	18.6	18.2	20.9	25.7	16.3	19.8	24.6

利益状況の推移…… (うち製造業のみ)

(%)

見込 予測

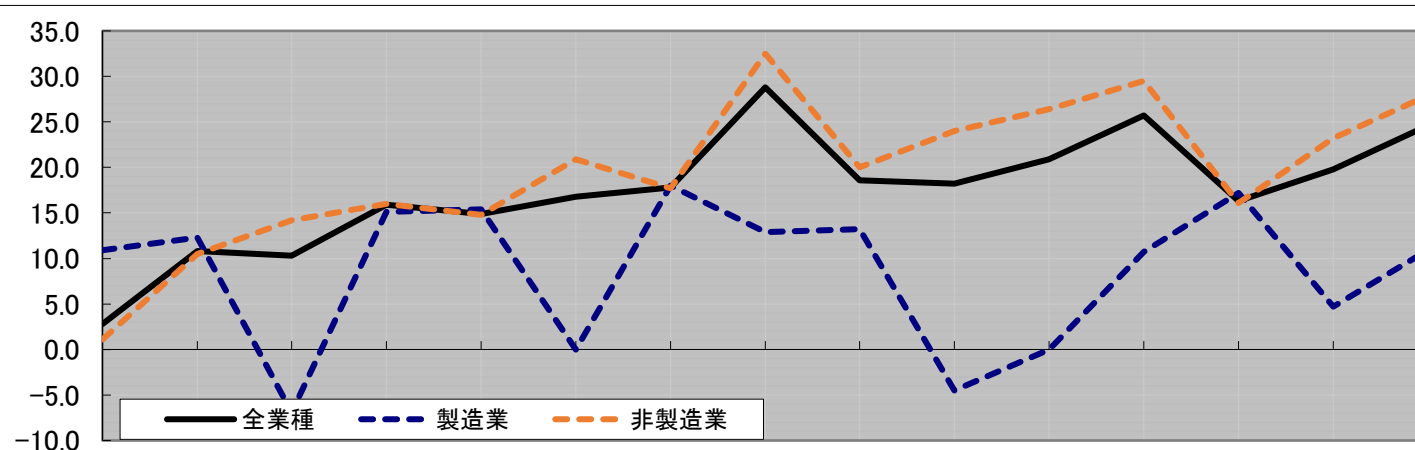
	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
黒 字	41.8	38.6	29.3	41.5	46.2	31.5	45.8	41.9	42.6	30.3	34.8	33.4	46.9	34.4	32.8
収 支 ト ン ト ン	27.3	35.1	34.5	32.1	23.1	37.0	26.4	29.0	28.0	34.9	30.4	43.9	23.4	35.9	45.3
償 却 後 赤 字	30.9	26.3	36.2	26.4	30.8	31.5	27.8	29.0	29.4	34.8	34.8	22.7	29.7	29.7	21.9
D . I .	10.9	12.3	-6.9	15.1	15.4	0.0	18.0	12.9	13.2	-4.5	0.0	10.7	17.2	4.7	10.9

利益状況の推移…… (うち非製造業のみ)

(%)

見込 予測

	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
黒 字	35.6	33.8	36.8	42.5	38.5	42.1	37.3	48.9	41.2	42.6	44.9	48.1	40.2	36.8	38.0
収 支 ト ン ト ン	29.9	42.9	40.6	30.9	37.7	36.7	43.2	34.7	37.6	38.8	36.6	33.3	35.7	49.6	51.9
償 却 後 赤 字	34.5	23.3	22.6	26.5	23.7	21.2	19.6	16.4	21.2	18.6	18.5	18.6	24.1	13.6	10.1
D . I .	1.1	10.5	14.2	16.0	14.8	20.9	17.7	32.5	20.0	24.0	26.4	29.5	16.1	23.2	27.9



全産業の利益状況D.I.はプラス16.3と前回比9.4ポイント悪化しました。

製造業はプラス17.2と前回比6.5ポイント改善しました。2025年4月以降もプラス圏内で推移する予想です。

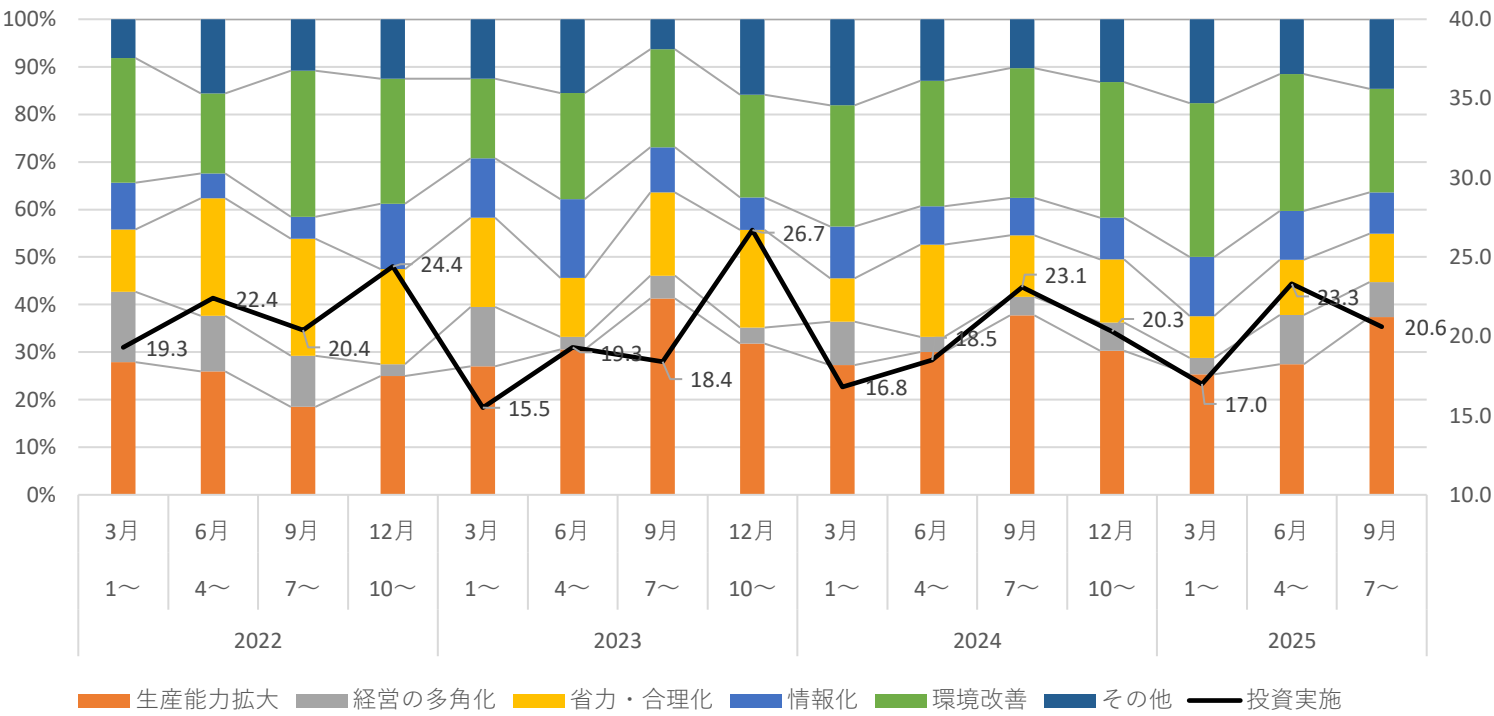
非製造業はプラス16.1と前回比13.4ポイント悪化しましたが、2025年4月以降もプラス圏内で推移する予想です。宿泊業、サービス業において悪化傾向にあります。

VI. 設備投資動向

(小数点第2位を四捨五入)

設備投資の有無													(%)			見込	予測
	2022				2023				2024				2025				
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月		
投 資 実 施	19.3	22.4	20.4	24.4	15.5	19.3	18.4	26.7	16.8	18.5	23.1	20.3	17.0	23.3	20.6		
投 資 せ ず	80.7	77.6	79.6	75.6	84.5	80.7	81.6	73.3	83.2	81.5	76.9	79.7	83.0	76.7	79.4		

設備投資の目的（実施先について）													見込	予測	
	2022				2023				2024				2025		
	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月
生産能力拡大	27.9	26.0	18.5	25.0	27.0	30.6	41.3	31.8	27.3	30.0	37.7	30.3	25.3	27.5	37.4
経営の多角化	14.8	11.7	10.8	2.5	12.5	2.6	4.8	3.4	9.1	3.2	3.9	5.9	3.5	10.3	7.3
省力・合理化	13.1	24.7	24.6	20.0	18.8	12.4	17.5	20.5	9.1	19.4	13.0	13.3	8.8	11.6	10.2
情 報 化	9.8	5.2	4.6	13.8	12.5	16.6	9.5	6.8	10.9	8.1	7.8	8.8	12.4	10.3	8.7
環 境 改 善	26.2	16.9	30.8	26.3	16.7	22.3	20.6	21.6	25.5	26.4	27.3	28.5	32.4	28.8	21.8
そ の 他	8.2	15.6	10.8	12.5	12.5	15.5	6.3	15.9	18.1	12.9	10.3	13.2	17.6	11.5	14.6



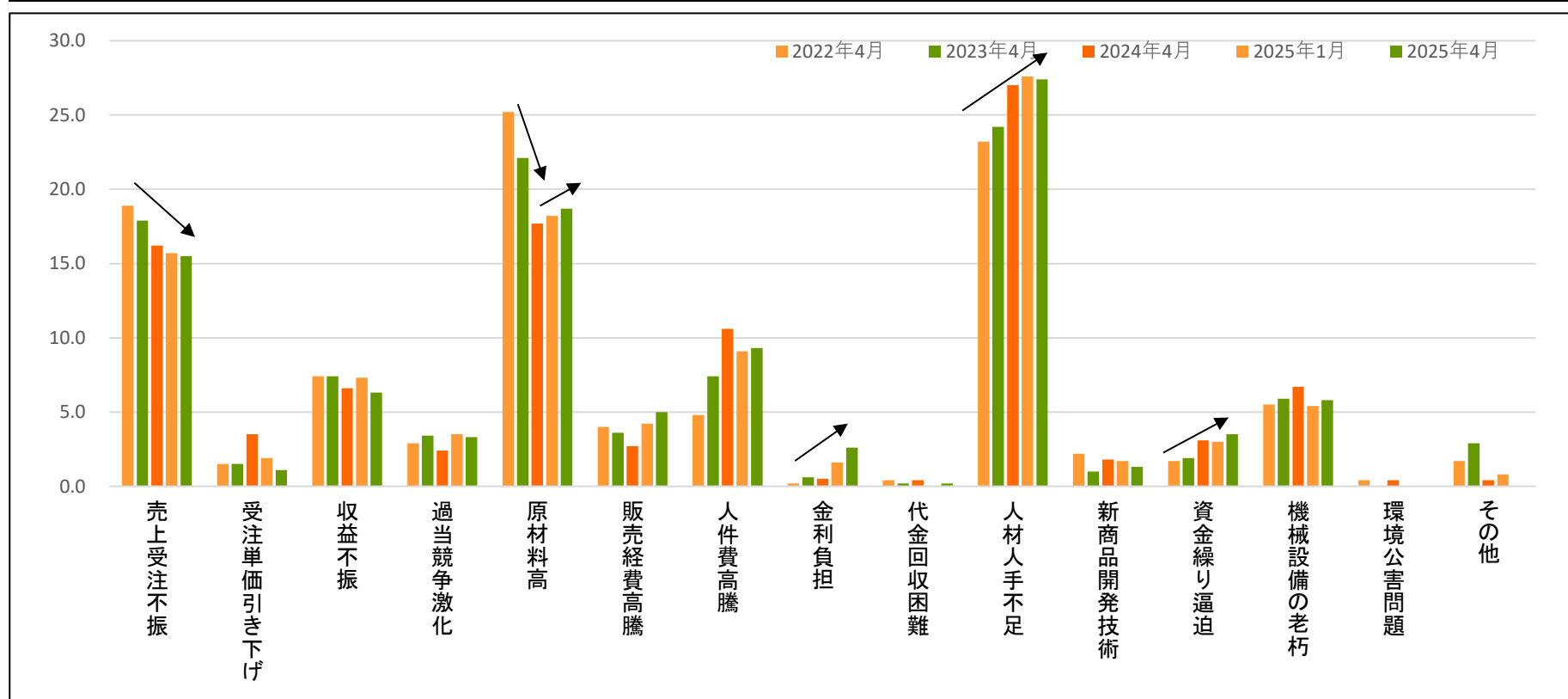
設備投資を実施した企業は17.0%となり、前回比3.3ポイント下降しました。2025年4月以降の設備投資意欲は回復傾向と予想しています。

設備投資を実施した目的について、「環境改善」は32.4%と前回比3.9ポイント上昇しました。「生産能力拡大」は25.3%と前回比5.0ポイント下降しました。「情報化」は12.4%と前回比3.6ポイント上昇しました。「省力・合理化」は8.8%と前回比4.5ポイント下降しました。「経営の多角化」は3.5%と前回比2.4ポイント下降しました。引き続き、「環境改善」「生産能力拡大」を目的とした設備投資動向が続くと推察されます。

VII. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり) (小数点第2位を四捨五入)

	2022年4月 (3年前同月)	2023年4月 (2年前同月)	2024年4月 (前年同月)	2025年1月 (前回)	2025年4月 (今回)	(うち製造業)	(うち非製造業)	前回比増減
売上受注不振	18.9	17.9	16.2	15.7	15.5	17.6	14.9	▲ 0.2
受注単価引き下げ	1.5	1.5	3.5	1.9	1.1	0.0	1.4	▲ 0.8
収益不振	7.4	7.4	6.6	7.3	6.3	9.2	5.5	▲ 1.0
過当競争激化	2.9	3.4	2.4	3.5	3.3	2.5	3.6	▲ 0.2
原材料高	25.2	22.1	17.7	18.2	18.7	21.8	17.8	0.5
販売経費高騰	4.0	3.6	2.7	4.2	5.0	4.2	5.2	0.8
人件費高騰	4.8	7.4	10.6	9.1	9.3	7.6	9.7	0.2
金利負担	0.2	0.6	0.5	1.6	2.6	1.7	2.8	1.0
代金回収困難	0.4	0.2	0.4	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2
人材人手不足	23.2	24.2	27.0	27.6	27.4	21.0	29.1	▲ 0.2
新商品開発技術	2.2	1.0	1.8	1.7	1.3	3.4	0.7	▲ 0.4
資金繰り逼迫	1.7	1.9	3.1	3.0	3.5	3.4	3.6	0.5
機械設備の老朽	5.5	5.9	6.7	5.4	5.8	7.6	5.5	0.4
環境公害問題	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	1.7	2.9	0.4	0.8	0.0	0.0	0.0	▲ 0.8



当面の経営上の問題点として前回より引き続き「人材人手不足」が最も多く27.4%となります。次いで高い項目は「原材料高」の18.7%、3番目に高い項目は「売上受注不振」の15.5%、4番目に高い項目は「人件費高騰」の9.3%となり、経営上の問題点のトレンドは前回と同じ傾向となっており、引き続きトレンドは継続すると推察されます。また、前回比増減が大きい項目として、「金利負担」が2.6%と前回比プラス1.0ポイント、前年同月比2.1ポイントとなっており増加傾向にあります。合わせて「資金繰り逼迫」も3.5%と前回比プラス0.5ポイントと増加傾向にあります。

今回、2022年、2023年同月の回答も比較対象として記載しましたが、「人材人手不足」、「人件費高騰」といった人材に関する課題点は増加傾向にあります。一方で、「売上受注不振」に関する課題は減少傾向にあります。

現在の業況、賃金の動向について

回答企業数	326社（うち、製造業62社、非製造業264社）
調査企業数	637社
調査時期	2025年4月
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施 （中小企業動向調査と同時に実施）

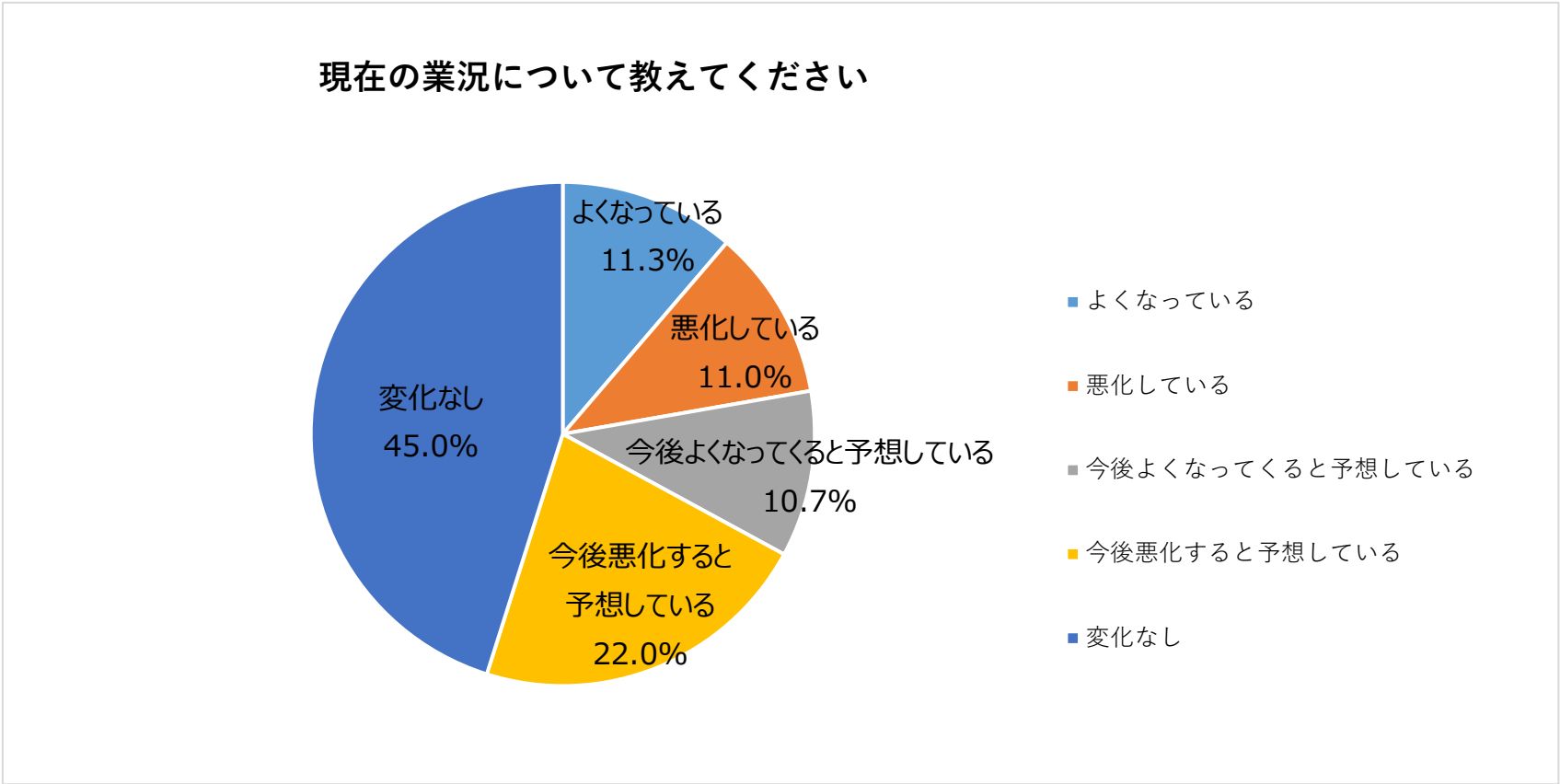
現在の業況等に関するアンケートでは、業況については「変化なし」と回答した企業が45.0%と最も多くなりました。一方、「業績が悪化している・今後悪化する」と回答した企業の主要因は「売上減少・受注不振」、「原材料、仕入価格上昇」、「人材・人手不足」、「人件費の高騰」が挙げられます。

深刻な働き手不足を背景に人材流動性が高まるなか、人材の確保および優秀な人材を繋ぎとめるため、賃上げ以外に、「新卒・中途採用の強化」、「労働環境・福利厚生の見直し」、「IT化の推進」、「業務効率化」等に取り組む企業が多く見受けられます。

賃金の動向に関するアンケートでは、「今年度賃上げを実施または、予定している企業」が全体の69.8%と大部分を占めております。その内、「3年連続で賃上げを実施または、予定している企業」が71.6%と、長期化する物価上昇への対応や政府の賃上げ要請等を背景に、継続的な賃上げを検討する動きが大企業から中堅・中小企業にも広がっています。一方、「今後の経営環境が不透明」、「業績が不調」、「原材料価格の高騰を価格転嫁できない」等、収益力が乏しいことを要因に賃上げできない中小企業も多く、賃上げに対する対応の二極化が進んでいます。

現在の業況等について

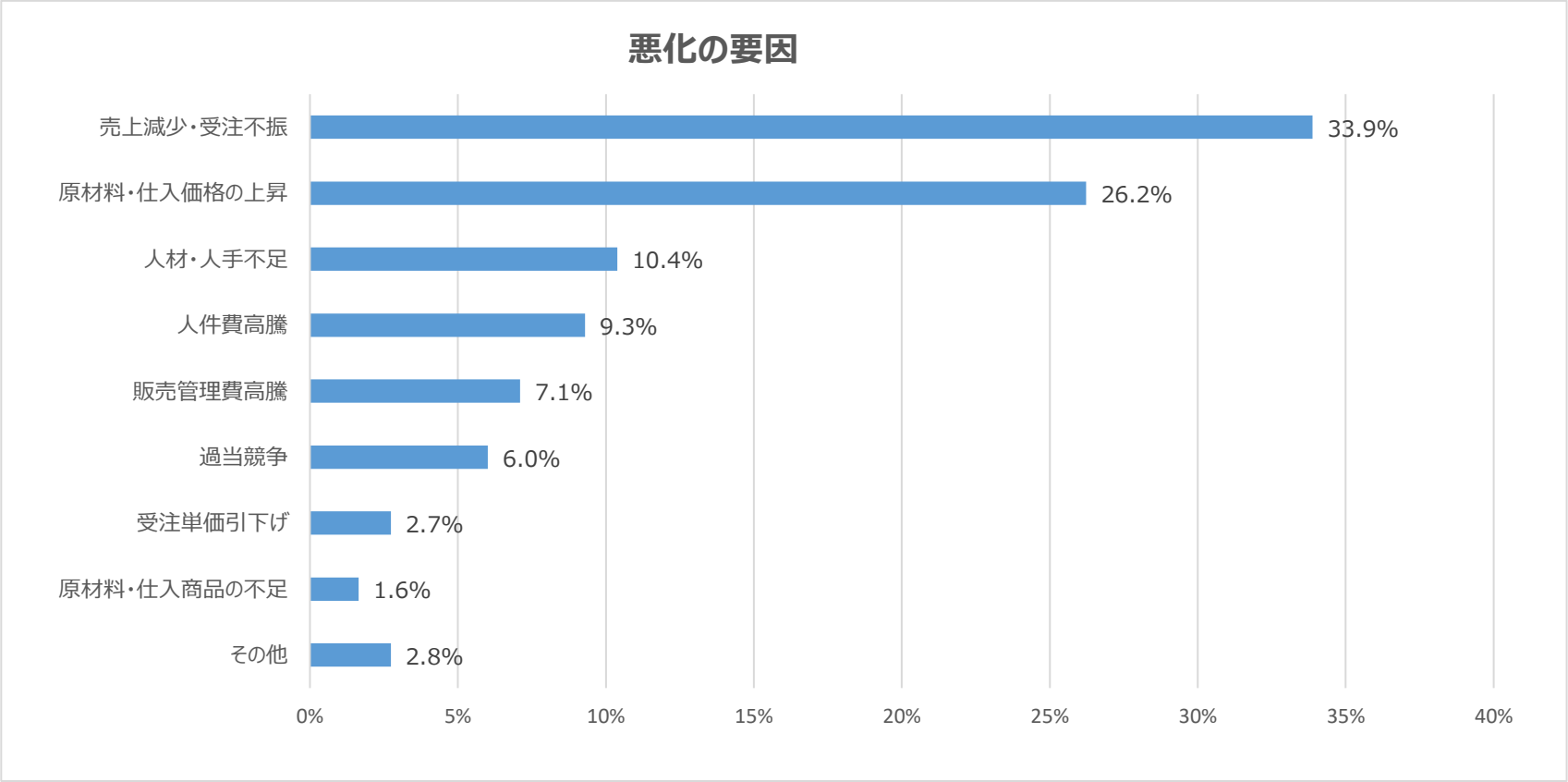
設問1：現在の業況について教えてください。



「変化なし」と回答した企業が45.0%と最も多く、次いで「今後悪化すると予想している」が22.0%、「よくなっている」が11.3%、「悪化している」が11.0%、「今後よくなってくると予想している」が10.7%となっています。

設問2：悪化の要因を教えてください。

※設問1で「悪化している」「今後悪化すると予想している」と回答された方のみ回答（複数回答可）

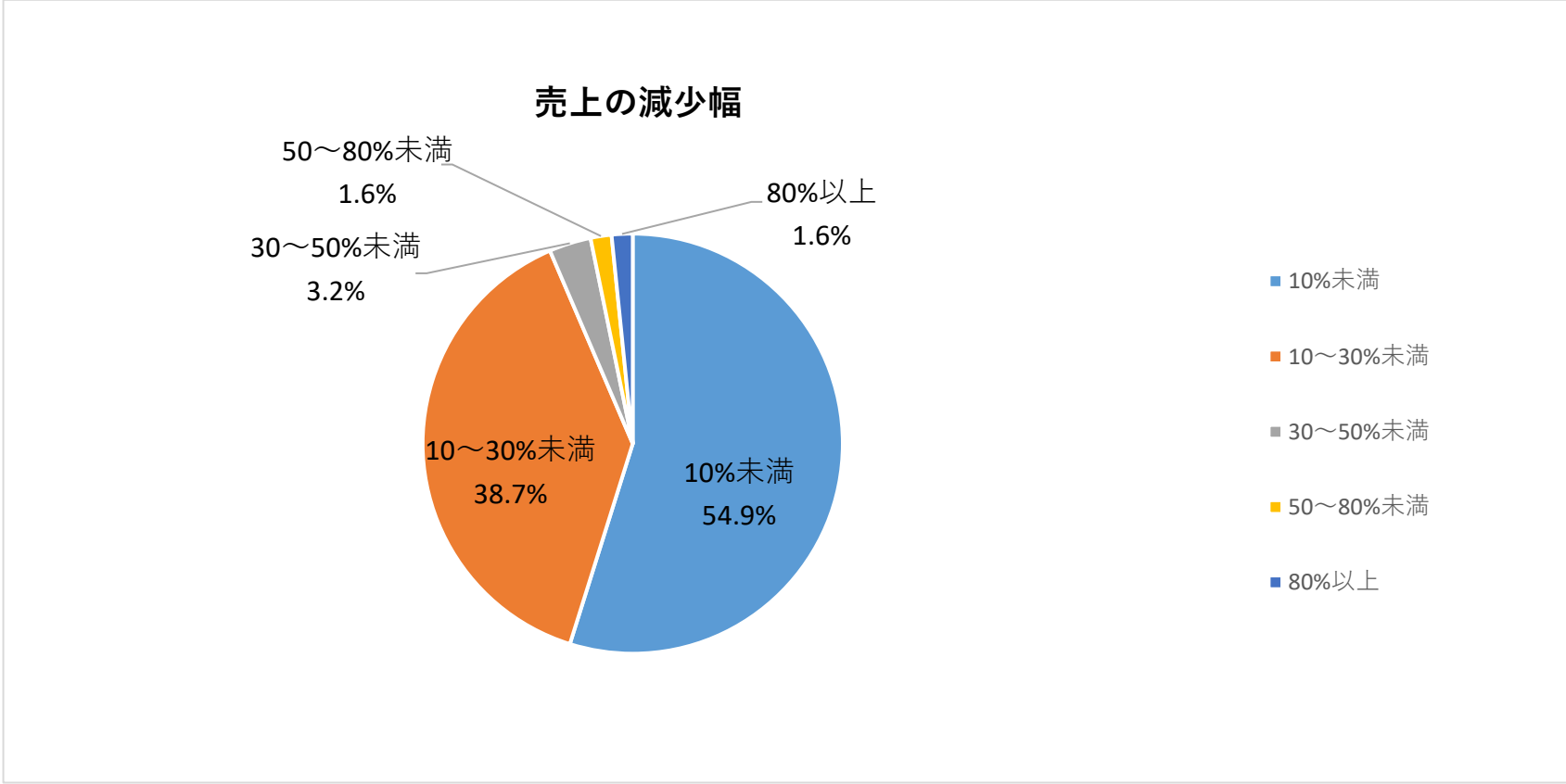


「売上減少・受注不振」と回答した企業が33.9%と最も多く、次いで「原材料・仕入価格の上昇」が26.2%、「人材・人出不足」が10.4%、「人件費高騰」が9.3%、「販売管理費高騰」が7.1%、「過当競争」が6.0%、「受注単価引下げ」が2.7%、「原材料・仕入商品の不足」が1.6%となっています。

「原材料・仕入価格の上昇」と回答した割合は、前回調査（2024年10月）19.4%と比較し、6.8%ポイント増加しており、企業業績を圧迫している要因の一つであることがわかります。

設問3：売上（受注）の減少幅を教えてください。

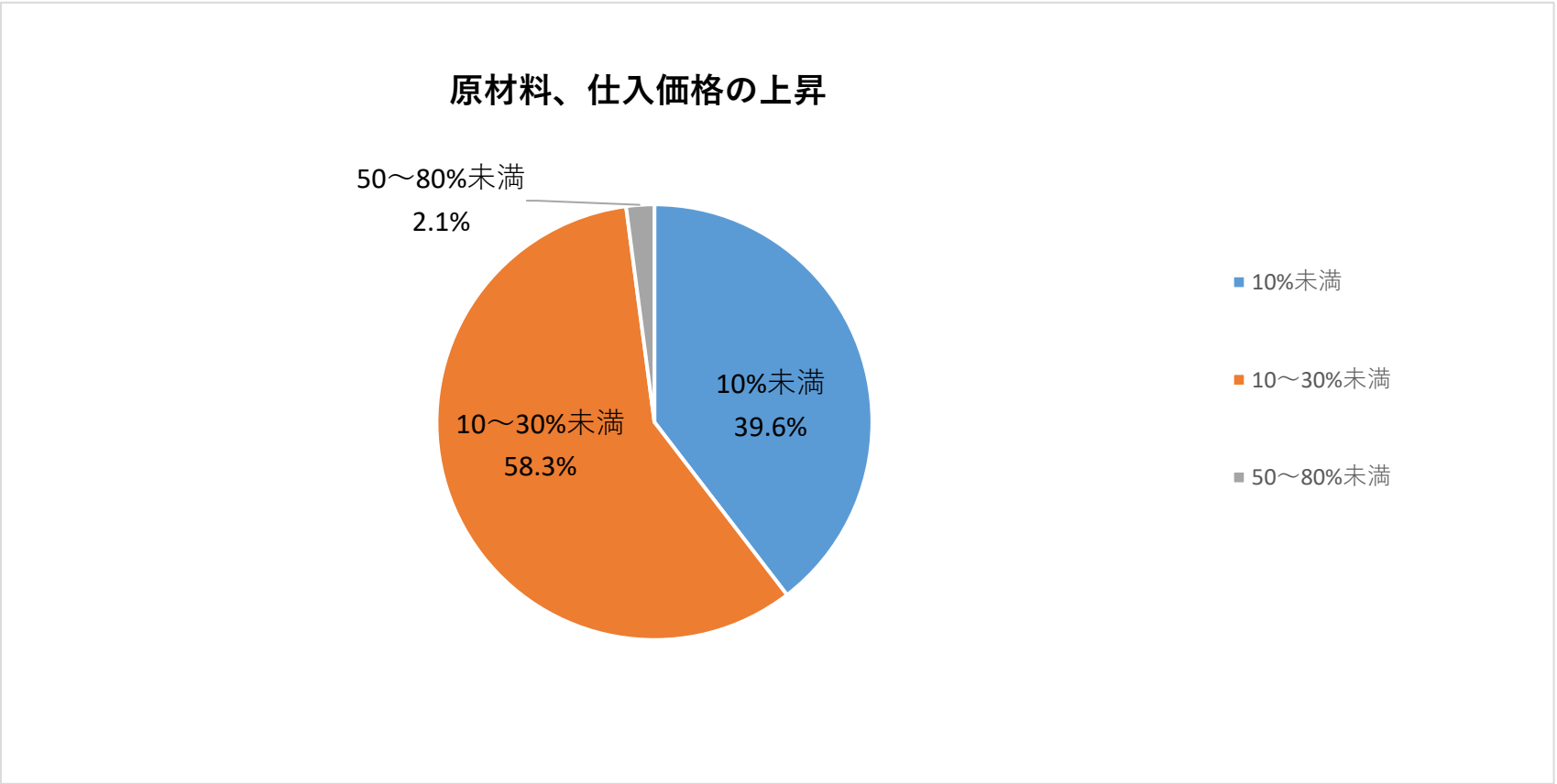
※設問2で「売上減少・受注不振」と回答された方のみ回答



「10%未満」と回答した企業が54.9%と最も多く、次いで「10～30%未満」が38.7%、「30～50%未満」が3.2%、「50～80%未満」、「80%以上」がともに1.6%となっています。

設問4： 原材料、仕入価格の上昇について教えてください。

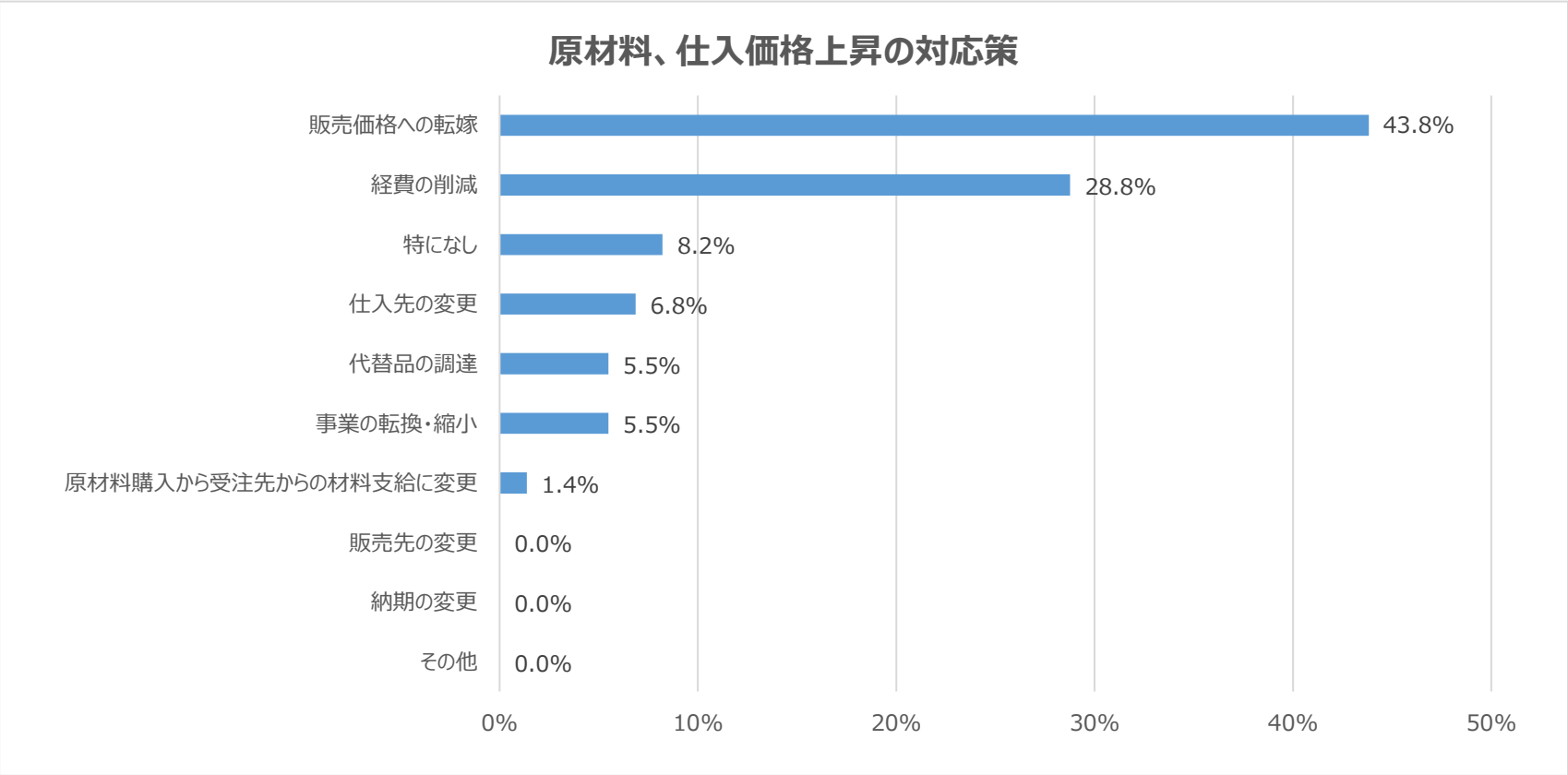
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答



「10～30%未満」と回答した企業が58.3%と最も多く、次いで「10%未満」が39.6%、「50～80%未満」が2.1%となっています。

設問5： 原材料、仕入価格上昇の対応策について教えてください。

※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答（複数回答可）

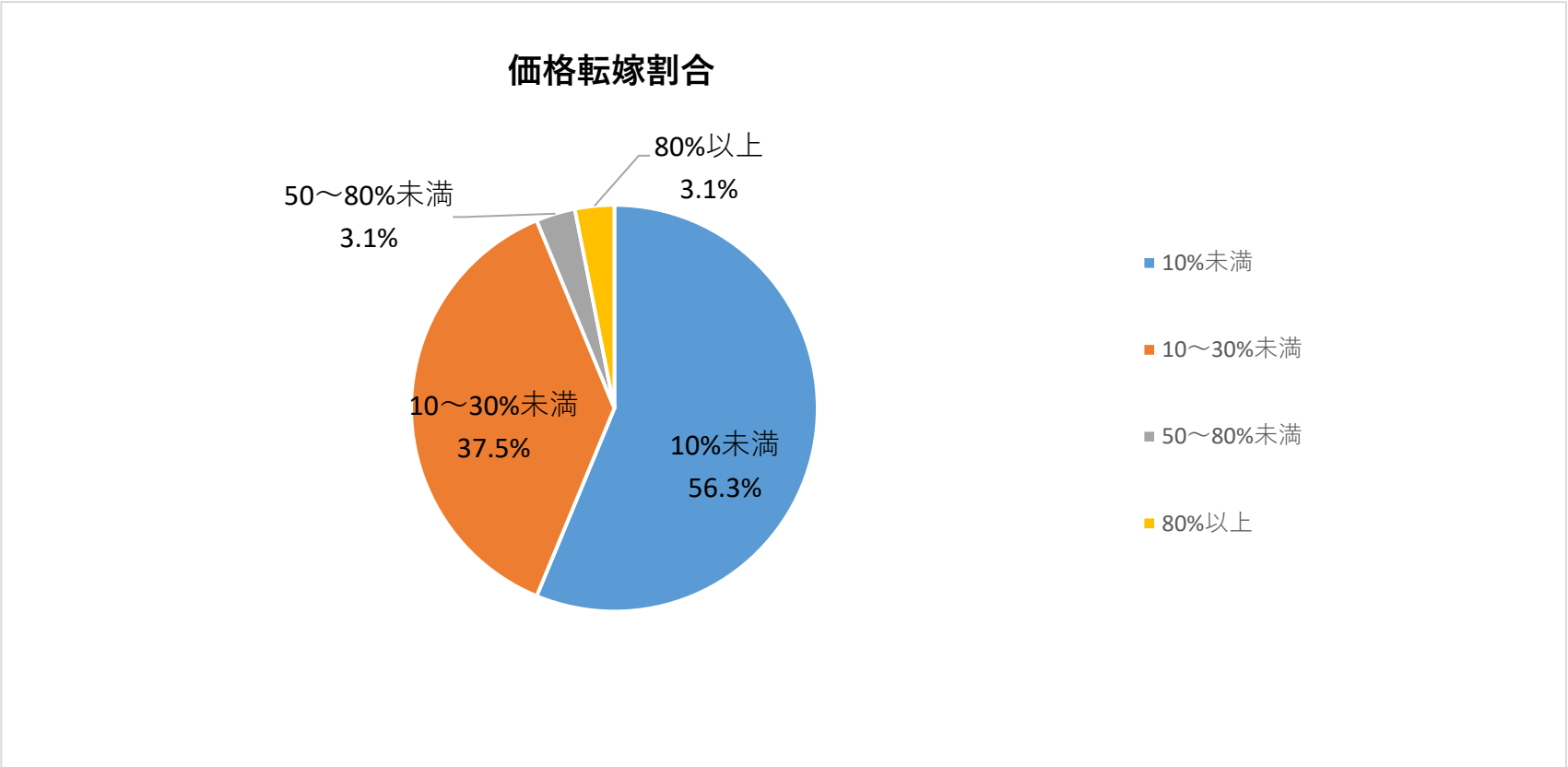


「販売価格への転嫁」と回答した企業が43.8%と最も多く、次いで「経費の削減」が28.8%、「特になし」が8.2%、「仕入先の変更」が6.8%、「代替品の調達」、「事業の転換・縮小」がともに5.5%となっています。

「販売価格への転嫁」と回答した割合は、前回調査（2024年10月）39.6%と比較し、4.2%ポイント増加しており、原材料・仕入価格の上昇に伴う価格転嫁は堅調に進んでいる様子が伺えます。

設問6： どれくらい価格転嫁したかを教えてください。

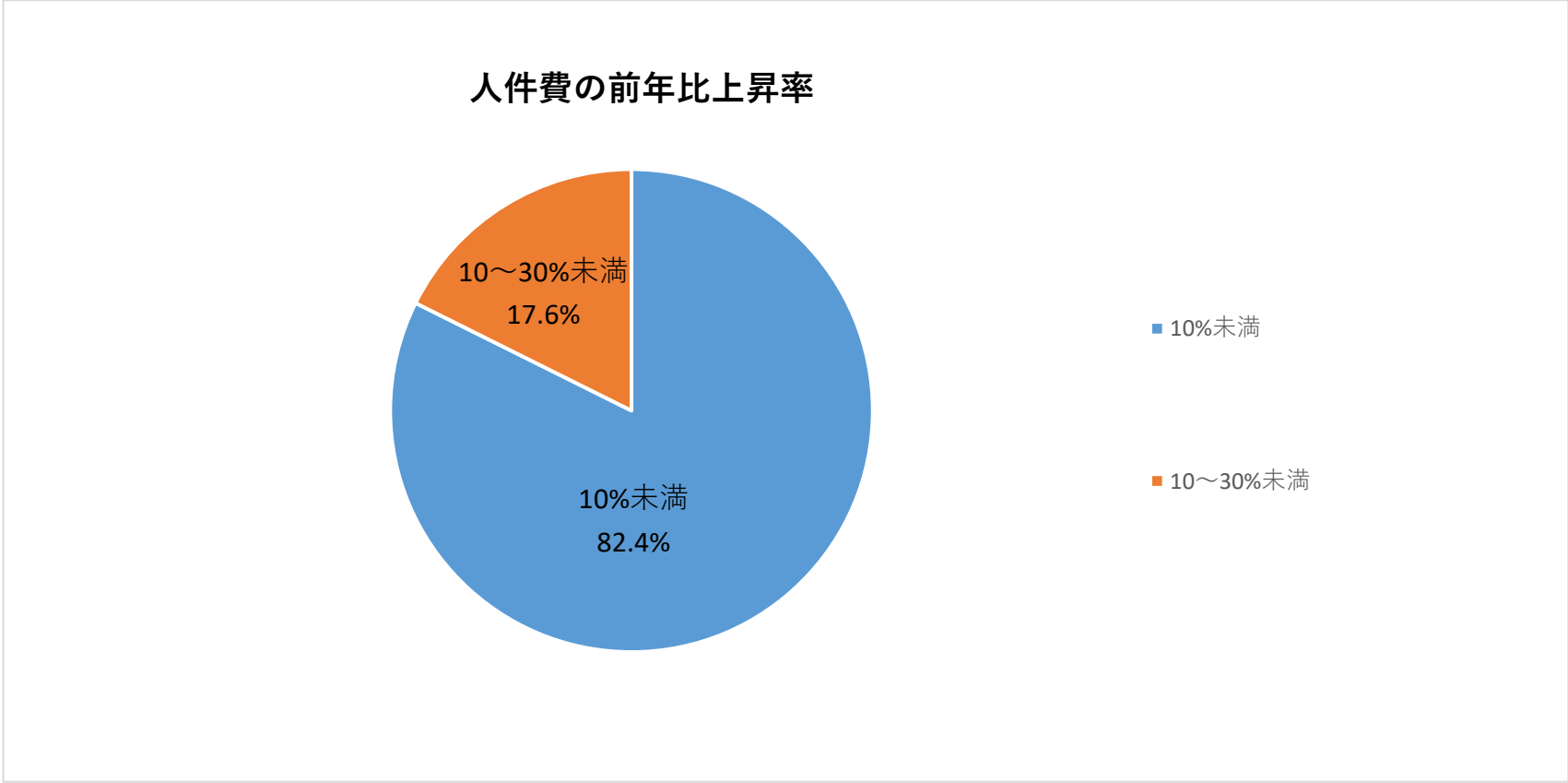
※設問5で「販売価格への転嫁」と回答された方のみ回答



「10%未満」と回答した企業が56.3%と最も多く、次いで「10～30%未満」が37.5%、「50～80%未満」、「80%以上」がともに3.1%となっています。

設問7： 人件費は前年度と比較してどれくらい上昇しましたか。

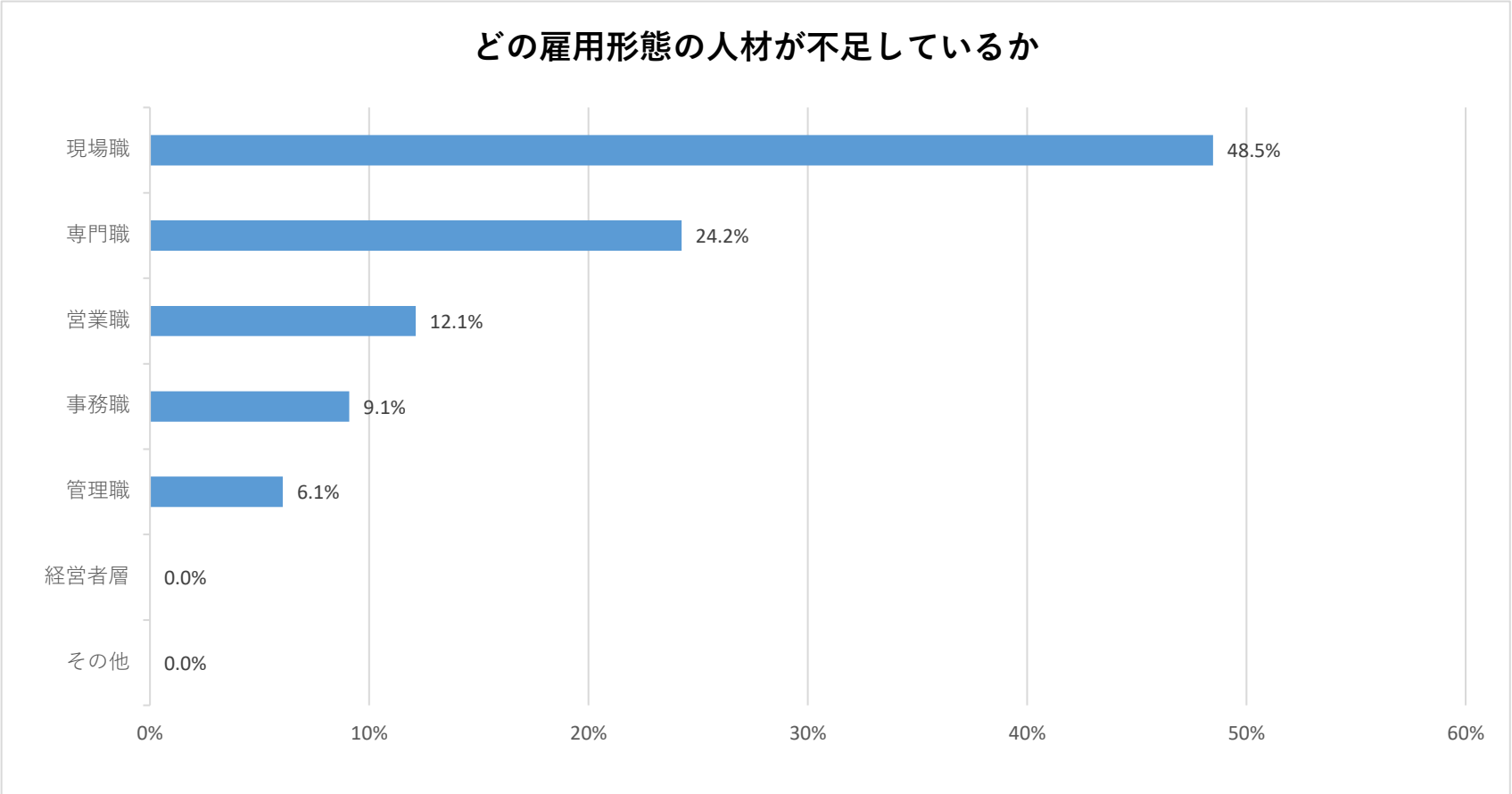
※設問2で「人件費高騰」と回答された方のみ回答



「10%未満」と回答した企業が82.4%と最も多く、「10～30%未満」が17.6%となっています。

設問8： どのような雇用形態の人材・人手が不足していますか。

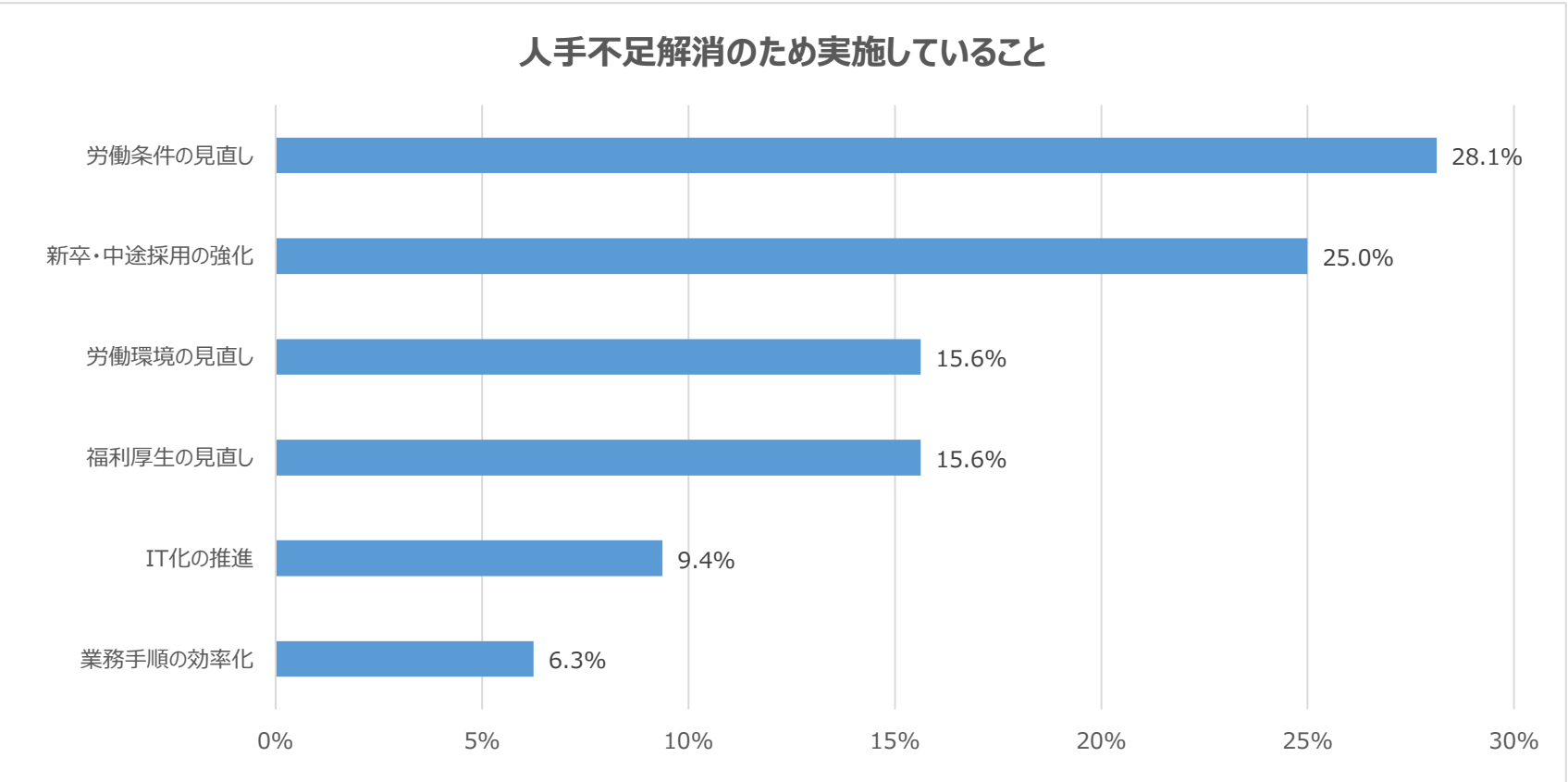
※設問2で「人材・人手不足」と回答された方のみ回答（複数回答可）



「現場職」と回答した企業が48.5%と最も多く、次いで「専門職」が24.2%、「営業職」が12.1%、「事務職」が9.1%、「管理職」が6.1%となっています。

設問9： 人手不足解消のため実施していることについて教えてください。

※設問2で「人材・人手不足」と回答された方のみ回答（複数回答可）



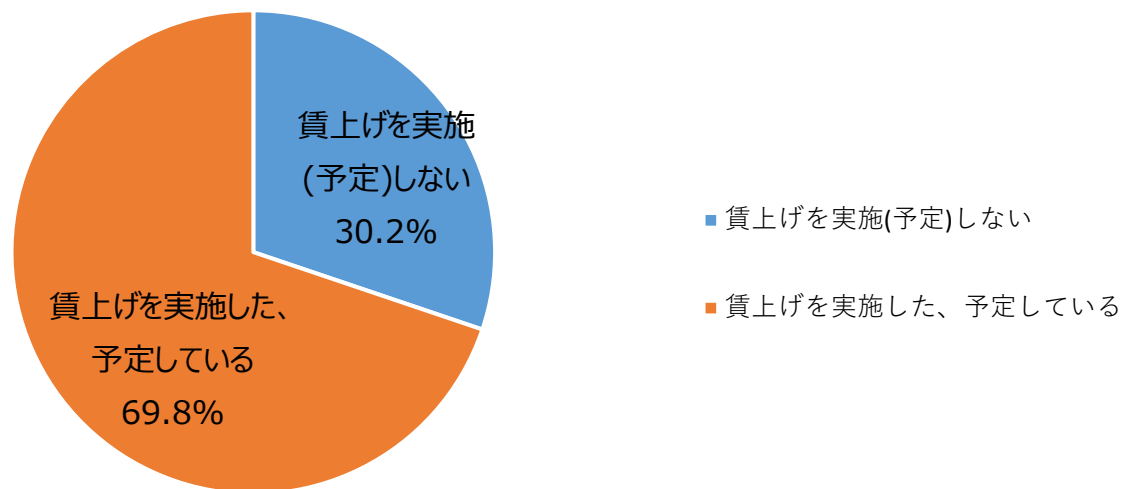
「労働条件の見直し」と回答した企業が28.1%と最も多く、次いで「新卒・中途採用の強化」が25.0%、「労働環境の見直し」、「福利厚生の見直し」がともに15.6%、「IT化の推進」が9.4%、「業務手順の効率化」が6.3%となっています。

「新卒・中途採用の強化」と回答した割合は、前回調査（2024年7月）1.3%と比較し、23.7ポイントと大幅に増加しており、人手不足が深刻となるなか、人材の流動性が高まっていると推察されます。

賃金の動向について

設問10 : 今年度賃上げを実施しましたか。

今年度賃上げを実施しましたか

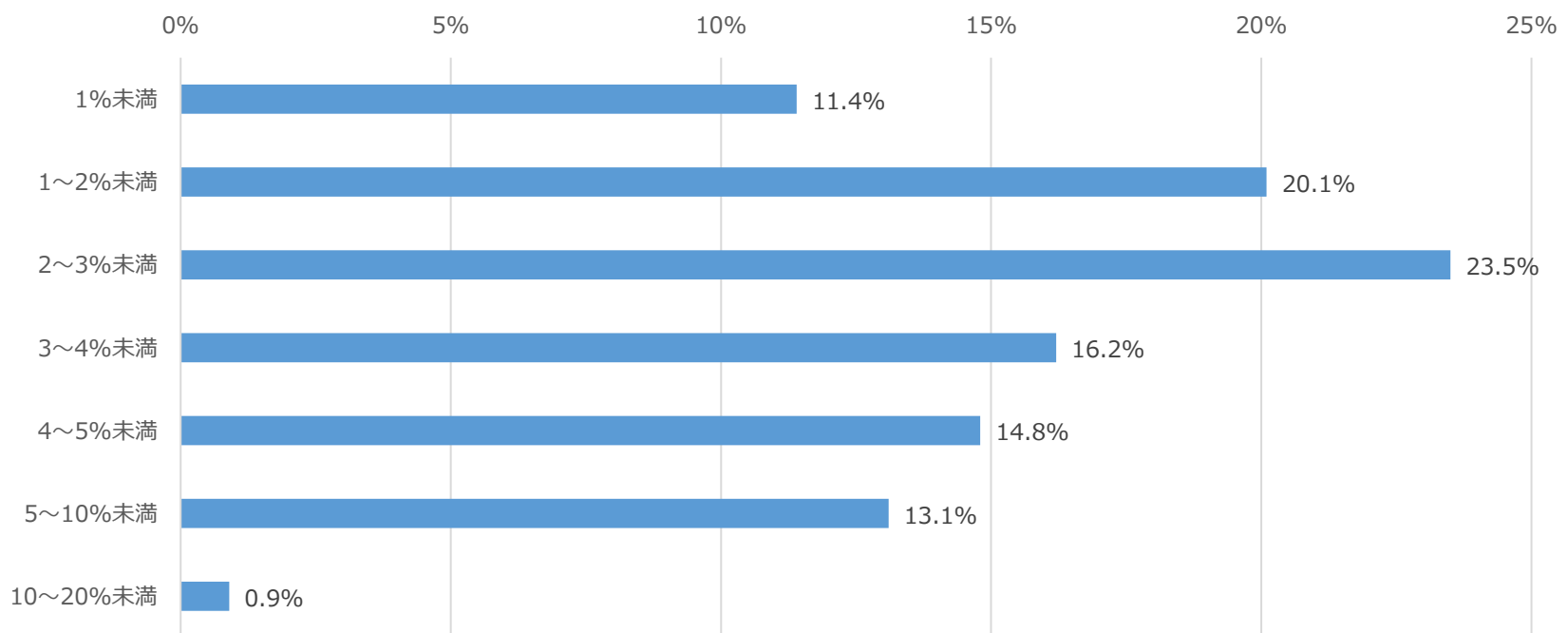


「賃上げを実施した、予定している」と回答した企業が69.8%と最も多く、「賃上げを実施（予定）しない」が30.2%となっています。

設問11 : 昨年度比の賃上げ率について教えてください。

※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答

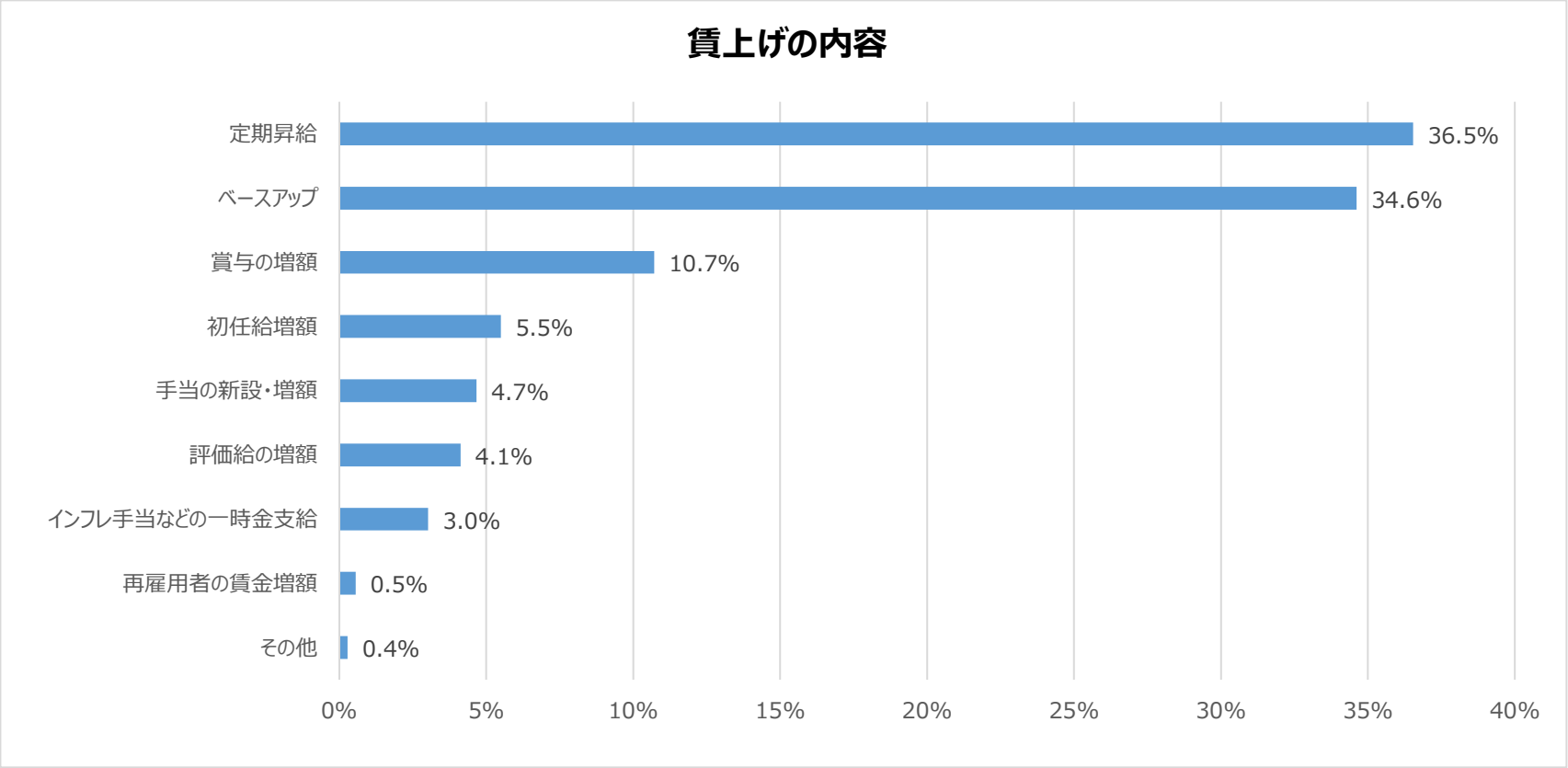
昨年度比の賃上げ率



「2～3%未満」と回答した企業が23.5%と最も多く、次いで「1～2%未満」が20.1%、「3～4%未満」が16.2%、「4～5%未満」が14.8%、「5～10%未満」が13.1%、「1%未満」が11.4%、「10～20%」が0.9%となっています。

設問12：賃上げの内容について教えてください。

※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答（複数回答可）

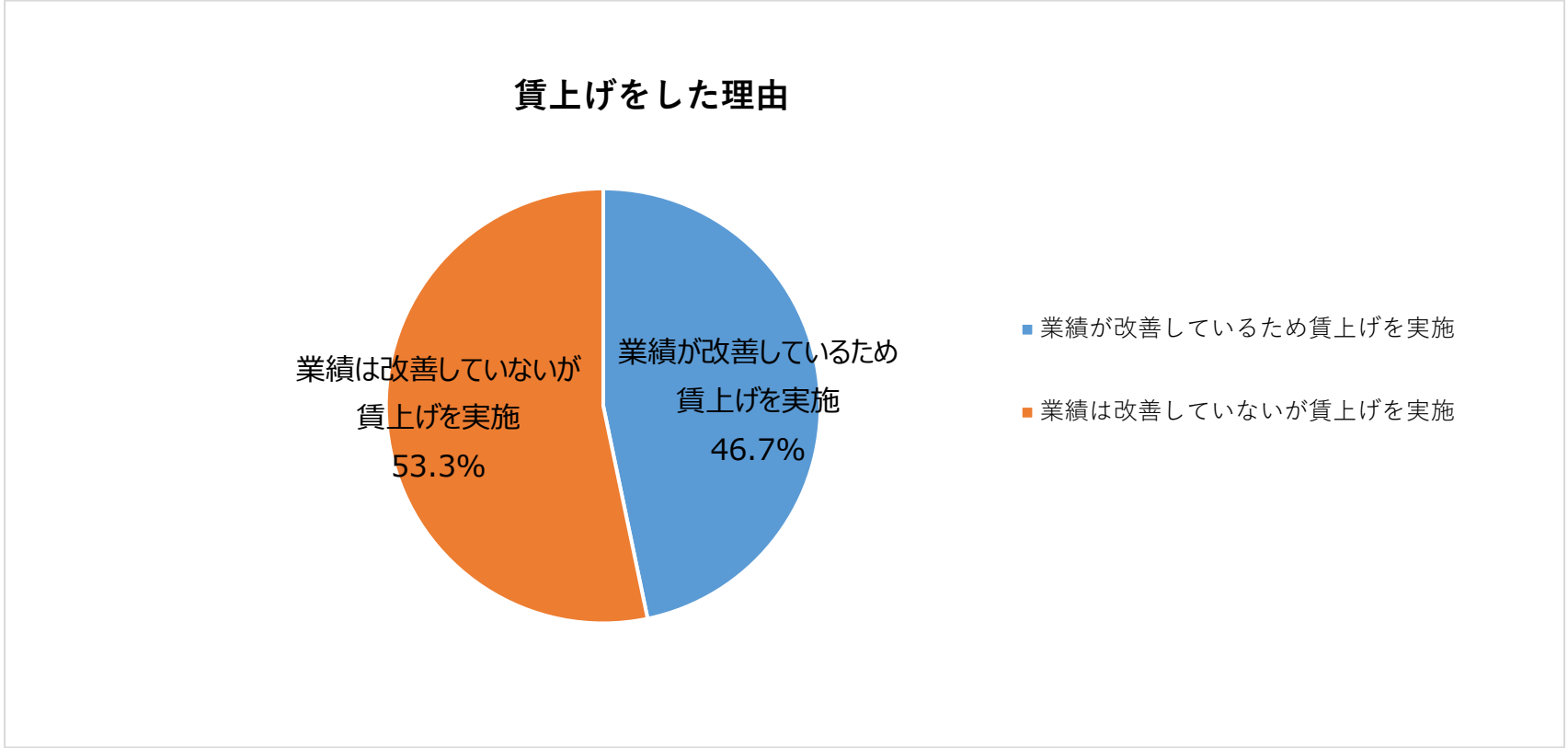


「定期昇給」と回答した企業が36.5%と最も多く、次いで「ベースアップ」が34.6%、「賞与の増額」が10.7%、「初任給増額」が5.5%、「手当の新設・増額」が4.7%、「評価給の増額」が4.1%、「インフレ手当などの一時金支給」が3.0%、「再雇用者の賃金増額」が0.5%となっています。

「ベースアップ」と回答した割合は、前回調査（2024年7月）31.2%と比較し、3.4ポイント増加しており、物価上昇への対応や従業員のモチベーション向上を目的にベースアップを実施したと推察されます。

設問13：賃上げをした理由について教えてください。

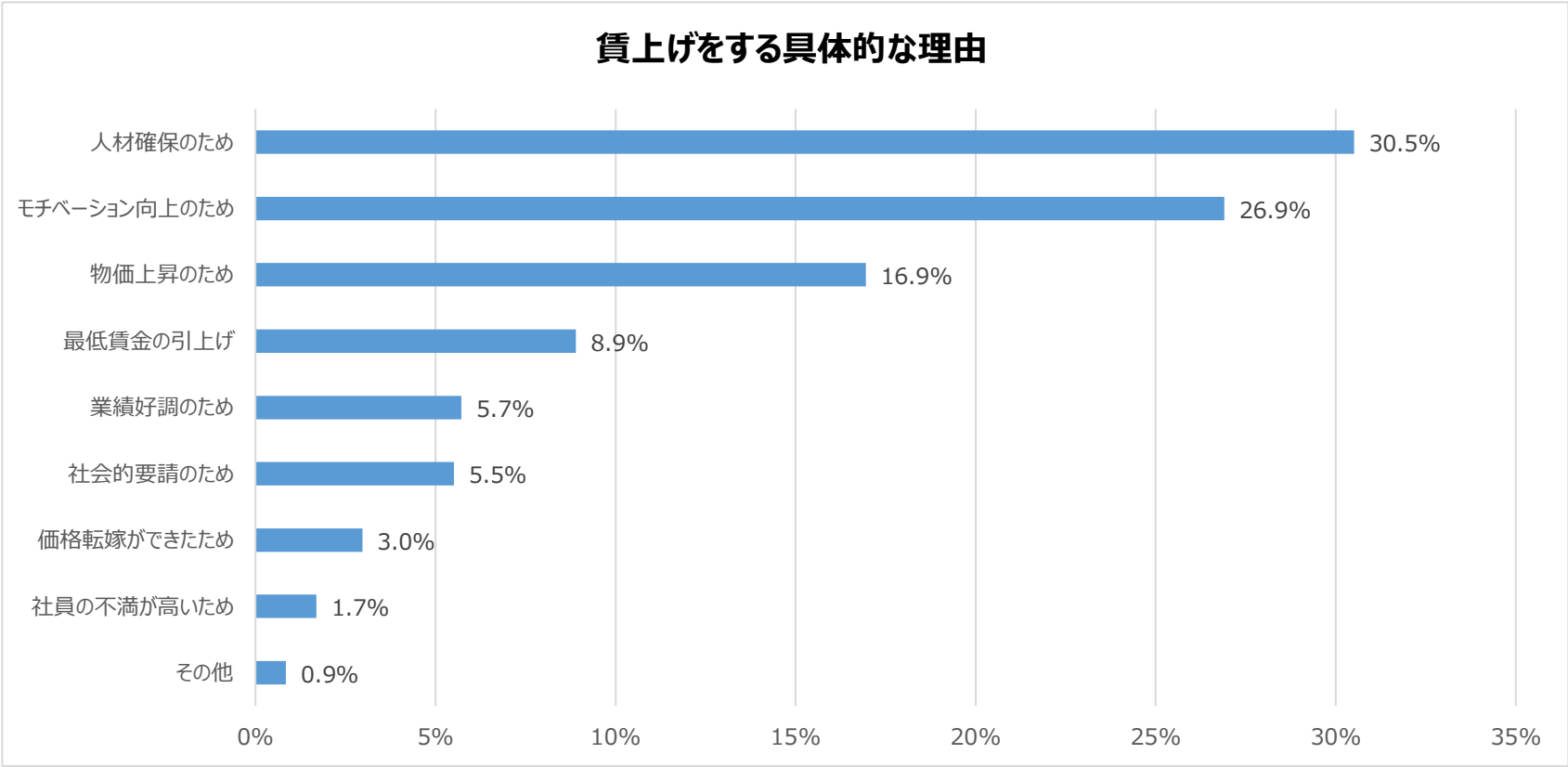
※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



「業績は改善していないが賃上げを実施」と回答した企業が53.3%と最も多く、「業績が改善しているため賃上げを実施」が46.7%となっています。

設問14 ： 賃上げをする具体的な理由について教えてください。

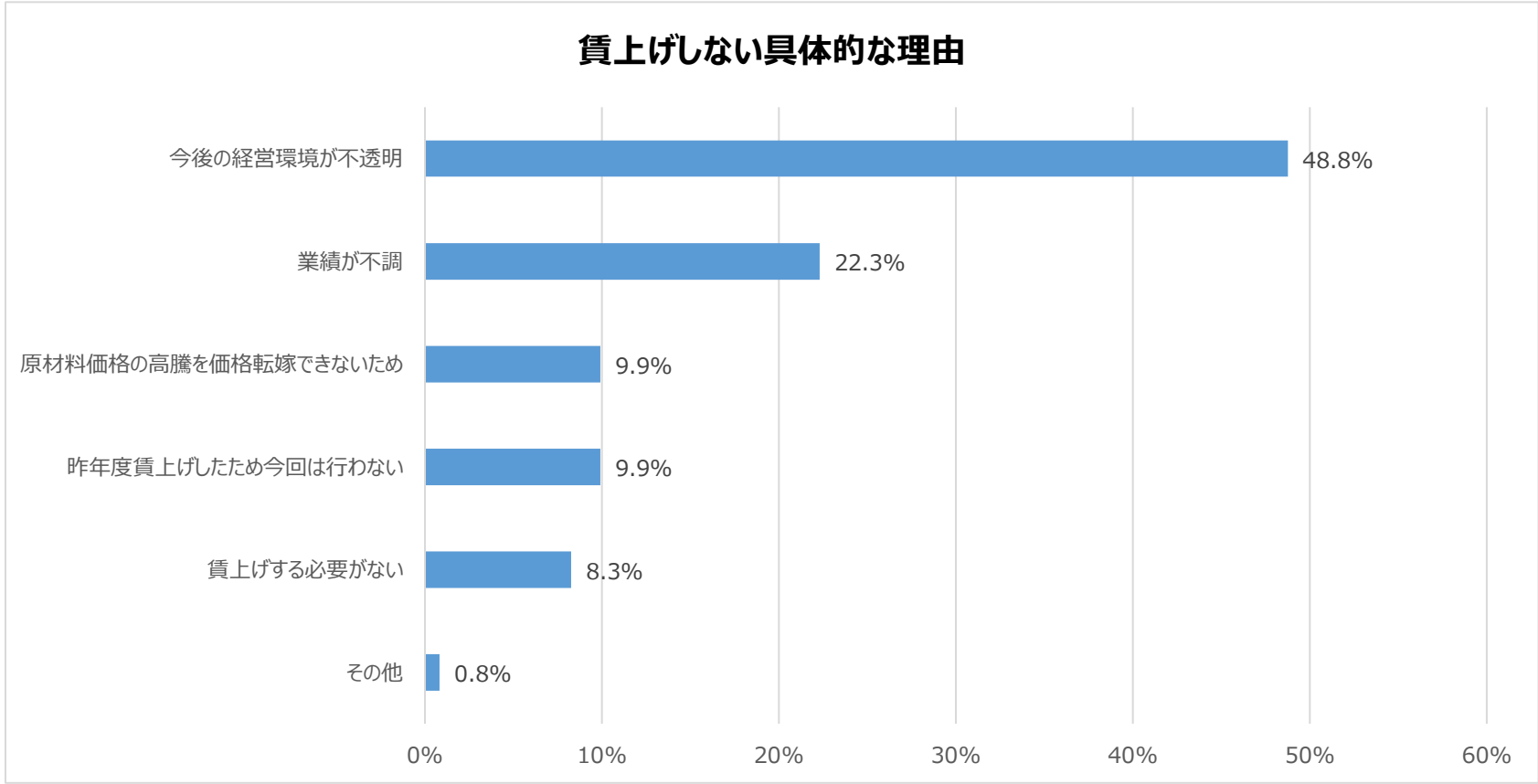
※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答（複数回答可）



「人材確保のため」と回答した企業が30.5%と最も多く、次いで「モチベーション向上のため」が26.9%、「物価上昇のため」が16.9%、「最低賃金の引上げ」が8.9%、「業績好調のため」が5.7%、「社会的要請のため」が5.5%、「価格転嫁ができたため」が3.0%、「社員の不満が高いため」が1.7%となっています。

設問15 ： 賃上げしない具体的な理由について教えてください。

※設問10で「賃上げを実施（予定）しない」と回答された方のみ回答（複数回答可）

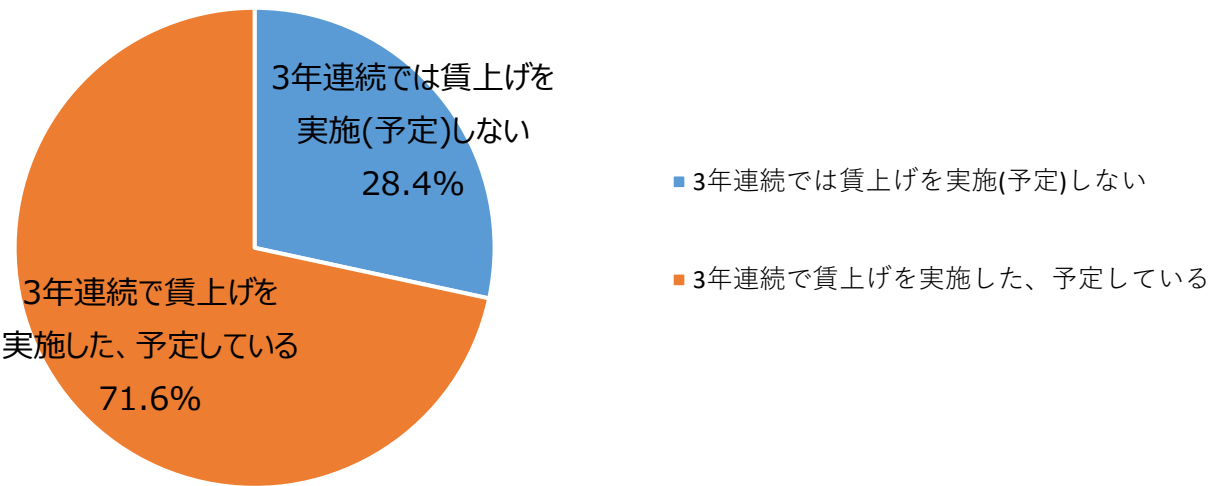


「今後の経営環境が不透明」と回答した企業が48.8%と最も多く、次いで「業績が不調」が22.3%、「原材料価格の高騰を価格転嫁できないため」、「昨年度賃上げしたため今回は行わない」がともに9.9%、「賃上げする必要がある」が8.3%となっています。

設問16 ： 昨年度に続き、3年連続で賃上げを実施したかについて教えてください。

※設問10で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答

昨年度に続き、3年連続で賃上げを実施したか



「3年連続で賃上げを実施した、予定している」と回答した企業が71.6%と最も多く、「3年連続で賃上げを実施（予定）しない」が28.4%となっています。

物価上昇への対応、人材の確保および優秀な人材を繋ぎとめるため、継続的な賃上げを検討する動きが広がってきています。

メモ

法人コンサルティングサービスのご案内

お客さまのお取り組み

売上増加

成長戦略

経営改善

事業承継

IT・効率化

人事施策

サステナブル

気候変動

ガバナンス



将来のあるべき姿を
考えたい

経営課題を
解決したい

サステナブル経営を
実現したい

幅広いメニューであらゆるステージに対応しています

コンサルティング面でのサポート

【コンサルティングサービス（伴走支援）】

- 成長戦略策定支援サービス
- 経営改善支援サービス
- 各種補助金申請のご支援
- BCP計画策定サポート
- DXコンサルティング
- 人事評価制度・賃金体系

【SDGs取組支援サービス】

- お客さまのSDGs宣言のサポートから、SDGsに資する取組の実行をサポートいたします

【カーボンニュートラルサービス】

- お客さまのCO2排出量の算出
- CO2削減ソリューションのご提案
- 再生可能エネルギー導入のご提案
- SBT認証（国際認証）の取得

【ビジネスマッチング】

- 経営課題を解決する最適なツールをご提案
- 企業同士のニーズとシーズの引き合わせ
- アウトソーシングニーズ、コストダウンニーズ、不動産ニーズ、リースニーズにも対応

【人材紹介】

- 必要な人材を紹介し、お客さまの経営力強化に貢献します

【事業承継・M&A】

- 事業承継、M&A、親族承継から第三者承継まで、あらゆる状況に応じた最適なお支援を実施します

サステナブル面でのサポート

【ファーストSDGs私募債（寄贈型）】

- 手数料の優遇金額分を、ご利用のお客さまの目的に応じ、寄付を行なう仕組みです

【ファースト・サステナビリティ・リンクローン】

- 本枠組みで、お客さまのサステナビリティの将来計画するお取組みに対して、第三者評価機関から評価を得て対外的にアピールします
- お客さまの経営理念、行動指針の具現化へのESG目標を定め行動することで、お客様の持続可能性と社会への貢献を高めることをサポートします

【ファースト・グリーンローン】

- 高い環境効果があるグリーンプロジェクトをファイナンスでサポートいたします。本枠組みの中で、外部評価機関の認証を取得し、お客さまのお取組みを対外的にアピールします

【ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

- 経済・環境・社会の3つの側面について、企業活動から生まれるポジティブ・ネガティブなインパクトを定量化し、独自の目標を設定する一連のお取組みに対して分析・評価し、対外的にアピールします

【省エネルギー設備投資に係る利子補給】

- 省エネ設備投資に対する金融支援

【地域脱炭素融資促進利子補給】

- 低炭素設備投資に対する金融支援（再生可能エネルギー等）

中小企業のお悩みに効く！

 富山第一銀行

売上UP
どうすれば…

販路拡大
方法は…

後継者
決められない…

人材育成
進まない…

企業の常備薬として

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その思い富山第一銀行に聞かせてください。

 富山第一銀行 <https://www.first-bank.co.jp/business/>